

●「SHINWA WALK～伝説そぞろ歩き」は、「ギリシャ神話と日本神話のハイブリッド」という手法で、郷土の神話、伝説、民話の足跡をたどるロマン紀行です。新しい伝説の世界をお楽しみください。

# SHINWA WALK 22

## 七所神社伝説

伝説  
そぞろ歩き

本殿に  
七柱神が  
せいぞろい  
柏木薫る  
渡御行列



### 七神を祀る七所神社

#### 祭礼では丹八山に里帰り

七所神社は、日本武尊(景行天皇の息子)、須佐之男尊(天照大神の弟)、宇賀御魂尊(須佐之男尊の息子)、天穗日尊(天照大神の息子)、天忍穗耳尊(天照大神の息子)、宮簀媛命(日本武尊の妻)、乎止与命(宮簀媛命の父)の七柱の神を合祀していることから、「七所神社」と呼ばれています。前の五柱は神話にある高天原から国土に降臨した神の系統を引く天神、後の二柱はこの地方の国の神といわれています。

時は941年、平将門が天皇を名乗り乱を起こした際、それを調伏する目的で全国各地で平定祈願が行われ、この七所神社も、その一つとして熱田神宮から七神を移し建立された神社で、今の丹八山に創建されたのがはじまりとされています。

将門の反乱が早く収まるようにと、熱田神宮から神輿を



▲七所神社の元宮とされる丹八山。

出して丹八山の高台で熱田神楽の一つである「矢車神楽」を奉納しました。それが功を奏し、将門が討たれた知らせが入ったのが、「伝説そぞろ歩き7」で紹介した「平将門の不死身伝説」です。

七所神社での祭礼は、境内にせいぞろいした7町内の傘鉦車・囃子車、新しい町内のみこしが順に七所神社を出発し、その後に宮司、白装束の氏子総代と続き、最後尾の神輿まで隊列を組み、丹八山まで行列します。

というも、七所神社は元来、丹八山にあったといわれていて、お祭りの時に元宮に「里帰り」するのです。別名「渡御行列」ともいわれ、そろりそろりとゆっくり進む行列は、山車祭りのような迫りこそありませんが、時代絵巻を見ているような奥ゆかしい雅やかな味わいがあります。



### 大胆にも女神・アテナに挑戦状 クモになってしまったアラクネ

七所神社は七神でしたが、ギリシャ神話では十二神。全能の神・ゼウス、ゼウスの正妻・ヘラ、穀物の女神・デメテル、海の神・ポセイドン、知恵の女神・アテナ、太陽の神・アポロン、月の女神・アルテミス、愛の女神・アフロディーテ、商売の神・ヘルメス、鍛冶の神・ヘパイストス、戦闘の神・アレス、酒の神・ディオニュソスの十二神が「オリュンポスの十二神」として絶大な権力を握っていますが、今回はアテナを紹介します。

アテナは知恵と勝利の女神で、トロイア戦争ではギリシャ軍を勝利に導きました。ギリシャの首都・アテネも守護女神にちなんで名づけられたもので、パルテノン神殿には守護女神であるアテナが祀られています。

そんなアテナの逆鱗に触



▲七柱の神が合祀されている七所神社。



※次回は、富部神社に伝わる高砂出車伝説について特集します。お楽しみに

■ 写真/Kiyoshi K ■ イラスト/Rei ■ 取材文/Icarus